

令和3年9月8日  
九州地方整備局

## 漁業者と連携して浅海域の漂流物を回収しました

本日（9/8）、令和3年8月の大雨の影響による有明海の浅海域の漂流物を漁業者と連携して回収しました。九州地方整備局では、調査観測兼清掃船「海輝」<sup>かいき</sup>、「海煌」<sup>かいこう</sup>を出動させ、福岡有明海漁業協同組合連合会の漁船約70隻が浅海域で回収した漂流物を受け取る作業を行いました。また、回収作業の効率化を図るため、（一社）日本埋立浚渫協会からもクレーン付台船を出動させ、漁船が回収した漂流物を受け取る作業を行いました。



漁船が回収した漂流物の受け取り状況（写真左が海輝）



受け取り状況全景  
（左中央：海輝、右手前：海煌）



漁船からの受け取り状況

本日の漂流物回収量（速報値）224m<sup>3</sup>（うち流木・沈木15m<sup>3</sup>）

（参考）令和2年7月豪雨に伴う漁業者との連携による回収量は250m<sup>3</sup>

### <問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 近藤 利彦 直通：092-418-3380

博多港湾・空港整備事務所 副所長 市田 輝喜 直通：092-752-4365

熊本港湾・空港整備事務所 副所長 久島 秋浩 直通：096-357-1134

（海輝・海煌運航事務所）

<参考>



漁船が回収した漂流物の受け取り状況（写真右がクレーン付台船「第5勝栄号」）



クレーン付台船で回収した沈木



海輝のクレーンによる漂流物の受け取り状況